交流

発行日:平成25年7月15日　第15号

福島日中文化交流会　事務連絡先
〒960-0613 福島県伊達市保原町字内町21-5
Tel/Fax 024-575-2071 携帯:090-2360-3275
Email:mayumi_mihojp@yahoo.co.jp
URL:http://www.rizhongwenhua.com

妇女能顶半边天

ー女性が天下の半分を支える―

福島日中文化交流会　会長　岩間真弓

平成２５年３月３日（日）中華人民共和国駐新潟総領事館及び新潟華僑華人総会のお招きで、新潟市内の ANA クラウンプラザ新潟で行われました「２０１３国際婦人デー」の記念レセプションに出席して参りました。

毎年、中国で行われている「３・８婦人節」のお祭りを日本のひなまつりに合わせ行ったもので、新潟、山形、福島、宮城四県の各界で活躍している女性を招き、女性同士の日中間の交流の輪を広げる目的で開催されました。

女性の集まりなのでそれは、とても華やかでおしゃべりも高らかにたのしいものでした。１２０名が出席しました。

レセプションの進行は、当福島日中文化交流会の昨年の１２月９日音楽堂でコンサートを開いた時にわざわざ新潟からお出でいただいた鐘発麗領事が司会されました。

そして、中華人民共和国駐新潟総領事館の女性代表として宮暁冬副総領事がご挨拶され、中国のことわざに　**妇女能顶半边天　ー女性が天下の半分を支える―**　という言葉があり、女性は国の半分を支えるほどの大きな力があり、中日両国の共同発展のため、互いの友好関係を築くため女性が一致団結して行きましょうと呼びかけられました。

その後、中華人民共和国駐新潟総領事館の王華総領事も流暢な日本語でご挨拶され、「女性ばかりの中に男の私が、参加させてもらってすみません。」など笑いを取る場面もあったり、また、尖閣諸島の日本と中国のギクシャクした関係について「私たちは、日本大好きなんですよ。ああいう報道は困るんです。」とおっしゃってました。

そして、レセプションの終わりには、領事館の先生方が、中国の少数民族の衣装で登場し、会場を盛り上げてくださいました。

日中間の関係が冷え込む中、領事館の先生方が、日本と懸命に繋がって行こうとする姿を拝見し、大変感銘を受けました。

また、熱心にこのような催しを開催されたことに心より感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

（中国の少数民族の衣装で登場）

春節交流会

吉田　恵

2013 年 2 月 10 日午前 10 時。前日に聞いたとおり福島市中央学習センターの調理室に着くと、中ではすでに賑やかに準備が始まっていた。廊下で受付と身支度をして中に入る。近くの人に声をかけ、まずは「仙台風お雑煮」の材料切りを手伝わせてもらった。調理室は人でごった返していて、別の調理台では餃子の皮となる小麦粉をこねたり、具となる野菜や肉を混ぜたりしている。周りから聞こえるおしゃべりの声には時々中国語も交じる。

「あなた中国人？日本人？」「日本人です。友人に教えられて飛入り参加しました。」

（分担して料理作り）

中国に興味があって、でも春節らしいことを体験したことがなくて、偶然にも前日にこの会のことを紹介されて参加を決めてきた。しかし、まさかこんなに大きなイベントだったとは。到着した時、会場を間違えたかと焦ったほどだった。

お雑煮の下ごしらえが一段落してから餃子の皮作りの台に移動した。市販の皮を買って餃子を包むことはあっても皮から作ったことはないので、一番楽しみにしていた作業だった。小麦粉を練った生地の塊の中央に穴を開けて浮き輪のようにし、伸ばして少しずつ細くし、途中で切って棒状にする。これを一口大に切り分けて粉をまぶしたら、一つずつ麺棒で伸ばして薄い円形にしていく。見ていると簡単そうだが、やってみるとなかなか難しい。片手で麺棒を前後に転がしながら、もう一方の手で生地を回転させて…と教えられるとおりにやってみるが出来上がりが四角い。きれいな円形を量産していくお母さんたちの慣れた手つきは、まさに職人技だった。

それでも多少は形になってきた頃、「お餅つきが始まったよ～」という声がかかった。言われるままに移動すると、別室ではブルーシートの上で臼と杵での餅つきが行われていた。初めは遠巻きに眺めていたが、その後中国語の歌に合わせて数人で臼の周りを回りながら木の棒で餅をつく、という形で参加させてもらった。こんな形の餅つきも初体験である。

（みんなで餅つき）

餃子作りが終わってから調理台を見渡すと、今までに見たことのないほど大量の餃子が所狭しと並んでいた。その光景は「圧巻」の一言だった。宴会開始まであと 1 時間、焼かれ始めた餃子を味見のつもりでつまんでいたら、いつの間にか腹一杯になってしまった。しかし、まだたくさんの餃子たちが水餃子になるために控えている。中国の人は春節にこんなにたくさんの餃子を食べるのか！もちろん普通は家族の人数に見合う量だろうけれど、この光景を見られただけでも参加した価値があったと思えるほどだった。

（料理をテーブルに並べて、宴会が始まります）

1時間後、和室の座卓の上には期待どおり大量の水餃子・焼き餃子が並び、さらにお雑煮とぜんざいも準備され、50 人を超える大宴会が始まった。途中で鬼が出てきたり、花架拳や剣舞の発表、フルスやオカリナの演奏が披露されたり、中国語のクイズ大会が催されたり。赤と白の切り絵は「意外と簡単にできます」という先生の言葉が信じられないくらい、きれいで完成度が高く見えた。

（花架拳の実演）

（中国民族楽器フルスの演奏）

楽しい宴会もお開きとなり、残った水餃子を少し頂いて帰った。昼間あれだけ満腹になるまで食べたのに、夕食時には持ち帰った水餃子がするりとお腹に収まってしまった。それほどおいしい餃子だった。そして、とても充実した一日だった。

これを機に、その後は中国語教室にもお世話になるようになり、春節の日に野菜の切り方を教えてくれた方、餃子の皮作りを教えてくれた方、お餅をついていた方、花架拳や剣舞を披露していた方々とも机を並べる機会がある。第一印象があの日のお姿なのは変わらないが、和やかで楽しい教室の雰囲気もやはりあの時と一緒だと感じている。初めての春節体験で得たのはおいしい餃子だけではなかった。それとも、しっかりお祝いをしたご利益なのかな…。

（楽しい切り絵体験）

今年一年が皆様にとって実り多き年になりますように。

健康マージャン教室
３月３１日の大会

加藤　一朗

稲荷神社の前の麻雀荘での大会に参加しました。高橋重夫さんも参加され、御高齢ではありますが、昔取った仕事のお付き合いでの杵柄で、流石の若々しい打ち回しに驚かされました。私は約１０年振りの麻雀でした。ルールは覚えてましたが、点数を数えるのが不確かで、皆さんに着いて行くのがやっとの感じでした。

麻雀はルールさえ分かれば、どなたでも、始めての方、外国人でも言葉は通じなくても楽しく交流が出来る素晴らしいゲームです。私は約２０年程前に中国へ単身赴任で渡り、１０余年の生活をしましたが、赴任当時、全く中国語を話せない私は会社の若者部下を私の住むホテルに招き、良く麻雀をしました。麻雀で私が負けた分（殆ど毎回、私がわざと負？）の代償として、皆様にホテル内のレストランで食事を囲み、交流を深めました。

中国の麻雀のルールは“何でも有り“で、花排が多く有れば高得点と成り、場に捨排は日本のように並べるのでは無く、デタラメに捨てるので、筋を読む等は無く、単純な積排の運勝負です。

チベットでの麻雀のルールは、白、發、中、他、の絵排が無く、数字のみの排でのゲームです。旅行会社の社長、従業員と麻雀しましたが、私が一番負ました。何故なら、私の後ろに旅行会社の他の従業員が立ち、私の持ち排、を手の数字サインで皆さんに教えてました。負けた分でやはり私が御馳走し、大いに楽しく歓談出来ました。

私は日本の将棋が好きで良く大会等に参加しますが、中国にも中国将棋が有り、中国へ赴任して直ぐに中国将棋を覚え、各地への仕事、旅行では初めての方と将棋を行い、将棋を通して交流が出来、楽しみました。

ゲーム、音楽、美術、芸術等の文化は万国共通の言語で、始めての方、外国人等の交流に大きな力が有り、福島日中文化交流会はその意味でも重要な会と考えてます。会の益々の発展、皆様が何時までも健康でマージャン、他の交流が出来ますことを願ってます。

（健康マージャン大会の様子）

中国文化を体験しよう！
平成 25 年度しゃくなげ青年講座

菅野隼人

5 月 26 日(日)に、福島中央学習センターで主に特別支援学校を卒業した成人を対象に、中国文化を紹介し、体験できるプログラムを行いました。参加者は 51 名、福島日中文化交流会からは岩間先生、斉藤さん、矢部さん、坂本さん、菅野が出席しました。

（講座開講のあいさつ）

私たちは中国語体験、民族衣装体験、カルタ体験の３つのブースを用意して、参加者も３つのグループに分かれて時間を区切ってローテーションでそれぞれの体験をしてもらいました。

中国語体験では、「你好!」や「谢谢!」など、岩間先生に続いて大きな声を出して積極的に参加していました。また、日本の正月や中国の正月の比較の説明の際も、興味を持って耳を傾けていました。

（中国語体験ブース）

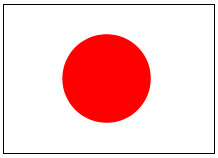
民族衣装体験では、始めは民族衣装を着ることをためらう方もいましたが、一度試してごらんと促して着てもらうと、なんだか楽しそうで、ワクワクしているような雰囲気でした。写真を撮ってほしいとお願いされ、カメラを向けると笑顔でポーズ。「とてもよかった。民族衣装が自分もほしいから送ってほしい。」といった感想を聞くことができ、とても満足している様子でした。

（民族衣装体験ブース）

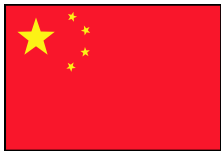
カルタ体験では、中国語で書かれた取り札を床に並べると、最初は絵を見て何かはわかるが読み方が日本語と全然違うのでどうしたらいいのかわからないという声も聞かれました。でも、実際に読み札を読んでみると、みんな必死になって探して、見つけて手に取ると拍手で健闘し合い、後半戦になるにつれて盛り上がりました。「難しいが慣れると楽しい。」と、日本カルタとは一味違った中国カルタを満喫したようです。

（中国カルタ体験ブース）

最後に中国〇×クイズをして、和やかな雰囲気の中、講座を終えました。



お知らせ



いつも福島日中文化交流会へのご支持とご協力感謝申し上げます。

平成２５年度の会費及び各種会費納入のお願い

下記へよろしくお願いいたします。

会費納入について

(1)　郵便局振込みの場合（お近くの郵便局で）
02220-7-105525　福島日中文化交流会

(2)　銀行振り込みの場合
振　込　先：普通預金　東邦銀行保原支店
口座番号：733649
名　義　人：福島日中文化交流会
会長　岩間真弓
住　　所：〒960-0613
伊達市保原町字内町 21-5

(3)　会費について
法人会員　10,000 円　　個人会員　　3,000 円
中国人会員　500 円

中国語会話教室からお知らせ

◎　中国語会話教室第42期募集開始！

日時：平成25年4月～平成 25年9月
場所：福島市中央学習センター
内容：

入門
講師：岩間真弓　補助講師　宋文静
毎週木曜日午後6時 00 分～7時 00 分

初級
講師：岩間真弓　補助講師　宋文静
毎週木曜日午後7時15分～8時45分

中級
講師：李淑薇
毎週火曜日午後6時 30 分～8時 30 分

費用：一ヶ月 3,000×6 ヶ月＝18,000 円
※一クラス分の授業料で 3 クラス受講可能
※各クラス授業日は都合により変更する場合あり。

◎第81回中国語検定試験開催
日時：平成25年11月24日（日）
場所：福島テルサ
内容：準 4 級・4 級・3 級・2 級・準 1 級・1級

「当面の行事のお知らせ」

1　花架拳教室
日時：毎月第2日曜日（都合により変更もある）
場所：福島市中央学習センター
内容：護身術である花架拳を演舞する
費用：1 年分　9,600 円（800 円×入会月から）
講師：日本花架拳学会　飯田加寿子

2　健康マージャン教室
日時：毎月第2日曜日（都合により変更もある）
場所：福島市中央学習センター
費用：1 年分　6,000 円（500 円×入会月から）
内容：吸わない・飲まない・賭けない健康なマージャン

3　日本語教室
日時：毎週木曜日 16:00～18:00
場所：福島市中央学習センター

講師募集！
内容：中国人に日本語を教える
＊講師料はお支払いできません。教科書各自負担。

4　中秋節『中国語会話教室・20周年記念事業』
日時：9月15日（日）
場所：福島テルサ
内容：中秋月餅を食べながら交流をする。
学習発表を鑑賞する。

5　ワークショップ「民族楽器はどんな音？」
日時：10月週末頃
場所：未定
内容：馬頭琴の体験、馬頭琴の音楽鑑賞

ホームページ
アクセスしてね。
ブログも書いてね！！

『福島日中文化交流会ホームページ』
http://www.rizhongwenhua.com/

≪編集後記≫
いつもみなさまからいただいた記事や写真から楽しい雰囲気が伝わってきます。これからも感想や記事を楽しみにしています。本号もよろしくお願いいたします。　（編集担当）